

事務事業名	分収林造林事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	終了
H29作成課等名	林務課	H29係等名	林業振興係	H28担当課等名	林務課	
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり			
目的	対象(誰・何を)	市有林(上村・南信濃地区)			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	出荷額等を高める活動をする。森林総合研究所(旧緑資源機構)との長期保育施策契約により健全な森林作りを行う。			森林総合研究所との契約面積(ha)	4010
	向上させたい上位施策の成果指標	林業生産額(億円)				
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	施業面積(ha)		50	18.15	140.97
						10.65
	定性目標					
事業概要	森林総合研究所(旧緑資源機構)との分収造林契約に基づいて市有林の保育施業を行う。					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	分収造林契約に基づき除伐作業を行い、森林の健全な育成を図る。 1 南信濃 兎洞団地			1 南信濃 兎洞団地 除伐(I)事業		1 10.65ha
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		4,632	4,122	4,121	0	(そ) 諸収入(分収造林受託事業収入)
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他		4,632	4,122	4,121		
一般財源						
人件費計(千円)②		358	358	358	0	
正規職員所要時間		100	100	100		
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		4,990	4,480	4,479	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り	1団地について除伐を実施した。森林総合研究所からの予算確定が冬期になると、積雪と重なり、着手が不可能になるため、早い時期での確定を要望している。					
改革改善の考え方	①問題点	国の施策により事業費の大幅な変動を受けやすく、毎年のように補正対応を行い実施している。				
	②改革提案	森林総合研究所との連携を強く図り、国の動向を把握しながら事業実施を図る。				